

第63回試験研究成果発表会_作物（水稲・栽培） 発表概要

【動画配信期間】 令和8年3月27日（金）～令和9年1月5日（火）

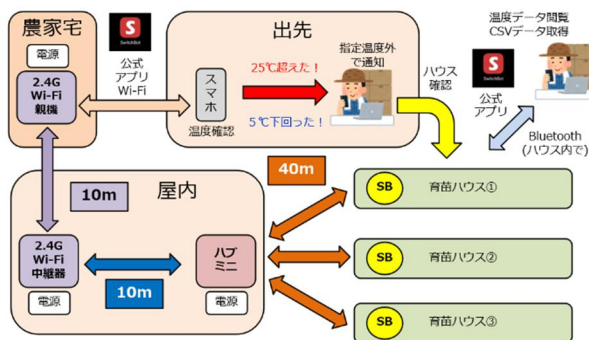
【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

簡易な水稲育苗ハウス温度監視システムの構築

研究マネジメント室 青木 優作

水稲育苗ハウスにおける温度管理の省力化と苗の障害防止を目的に、市販IoT機器SwitchBot 温湿度計とハブミニを用いた低コストかつ簡便な温度監視システムを構築しました。スマートフォンによる遠隔監視と温度異常の通知が可能で、機器の設置と初期設定のみで利用できます。現地実証では高温・低温障害の発生を防ぎ、適切な換気・温度管理の判断につながりました。実用性の高い育苗管理支援手法として本システムを紹介します。



システムの構成図



育苗ハウス内の設置の様子

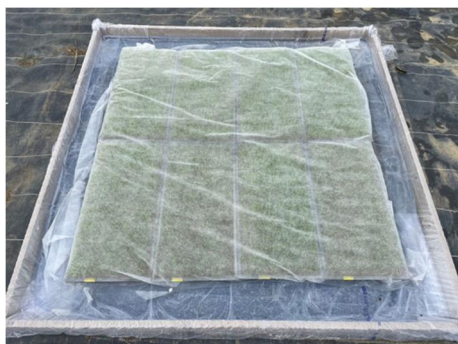
発表2 成果発表

千葉県育成品種「粒すけ」の露地プール及び高密度播種で育苗した苗の苗質と本田における生育

水稲温暖化対策研究室 西田 暁彦

水稲生産では、高齢化等でリタイアする生産者の圃場が地域の担い手に集まり経営規模が拡大傾向にあります。また、千葉県の水稲栽培では3～5月に耕起や育苗、移植等の作業が集中するため、作業の平準化が求められています。

そこで、千葉県の奨励品種「粒すけ」を用いて、省力育苗技術である「露地プール育苗」、「高密度播種育苗」を活用した栽培技術についてご紹介します。



露地プール育苗



左：高密度播種(300g) 右：慣行播種(150g)

発表3 成果発表

水稲有機栽培における米ぬか散布及び中耕除草による雑草防除

水稲温暖化対策研究室 山本 一浩

本県の水稲有機栽培で多い早期栽培では、長期に不斉一で発生する雑草の防除が課題です。既往の成果から中耕除草を移植7日後及び18日後の計2回行うことで高い除草効果を得られることが分かっていますが、中耕除草は欠株が発生する上に株元等に雑草が残ることが問題です。そこで、①早期栽培における中耕除草時の欠株を考慮した栽植密度、②米ぬか散布及び中耕除草を組み合わせた除草効果を明らかにしたので紹介します。



水稲有機栽培における主要雑草
(左からコナギ、ホタルイ)



水田除草機による
除草作業の様子

発表4 成果発表

イノシシはどこを狙う？圃場リスクの見える化と対策の効果

生産環境研究室 内田 耕陽

千葉県ではイノシシによる農作物被害が最も多く、県南部から県北部に拡大しています。そこで、県北部で行った水稲のイノシシによる被害調査の結果から、圃場周辺の要因を整理し、被害の出やすい圃場と効果的な対策を明らかにしたので紹介します。



水田のイノシシによる被害



水田に侵入するイノシシ